

令和6年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
67	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像
総合学科	45% 程度	<p>本校は、校訓「自立」「協働」「創造」のもと、「アカデミック系列」「トップアスリート系列」「スペシャリスト系列」の3系列を設置して、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」の育成を目指しており、本校で学びたいと強く考える生徒を求めている。</p> <p>特色選抜においては、以下の「トップアスリート型」「スペシャリスト型」のいずれかに該当する生徒を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート型：対象とするいずれかの競技種目で顕著な競技実績または高い能力を有し、その競技力を生かして自らの進路を切り拓き、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして社会を牽引しようとする者。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象競技種目：サッカー（男女） 野球（男） レスリング（男女） バドミントン（男女） ・スペシャリスト型：農業、工業、商業、福祉のいずれかの分野を学ぶ強い意欲があり、将来、地域や社会で活躍しようとする者。

選 抜 資 料

学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	<p>本校への志望動機、入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。</p> <p>また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。</p>	<p>「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍して、195点満点とする。「特別活動の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。</p> <p>部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。</p>	<p>個人面接を実施する。</p> <p>面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。</p> <p>トップアスリート型の面接は段階評価とする。</p> <p>スペシャリスト型の面接は点数化し、150点満点とする。</p>	<p>トップアスリート型については、種目ごとに実技を実施する。</p> <p>実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。実技は点数化し、500点満点とする。</p> <p>スペシャリスト型については、特色検査を実施しない。</p>	<p>全体の満点は、トップアスリート型が1000点、スペシャリスト型が650点とする。</p>	

令和6年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
67	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
総合学科	(160)	5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 面接については、段階評価とする。 トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技を実施する。実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技については、段階評価とする。	同等とする。	

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
総合学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 面接では、本校で学ぶ適性等について確認する。 面接については、段階評価とする。 トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技を実施する。実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技については、段階評価とする。	思考力、判断力、表現力等を問う小論文を実施する。字数は400字程度とする。 小論文は点数化し、50点満点とする。	

令和6年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
67	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

【連携型選抜】

大学科 小学科	募集 定員枠	選 抜 資 料					備 考
		学 力 検 査	調 査 書	連 携 型 面 接	連 携 型 検 査	選 抜 資 料 の 満 点	
総合学科	30% 程度	5教科とする。 学力検査の満点を 250点とする。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍して、195点満点とする。「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 アカデミック系列を希望する者及びトップアスリート系列を希望する者の面接は段階評価とする。 スペシャリスト系列を希望する者の面接は点数化し、150点満点とする。 ※志願理由書を提出する。 志願理由書には、本校への志望動機、入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。	トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技を実施する。実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技は点数化し、500点満点とする。 ただし、JFAアカデミー福島に該当する者は、実技を免除する。	全体の満点は、アカデミック系列の希望者が500点、トップアスリート系列の希望者が1000点、スペシャリスト系列の希望者が650点とする。	